

1 本校の教育目標

「挑み続ける子」

自分の目標や夢に向かって、たくましく挑み続ける作手小の子どもを育てる。

2 経営方針

- (1) 子どもの安心安全が担保された教育環境を、保護者や地域の方々と連携し整える。
- (2) 子どもが自ら考え動き「生きる力」を育む教育活動を追究し、確かな学力の向上に努める。
- (3) 子どもの豊かな心と逞しい体の育成を、教育活動や行事の工夫を通しめざす。

3 重点努力目標

- (1) 子どもの安心安全が担保された教育環境を、保護者や地域の方々と連携し整える。

①個々の子どもの「頑張りたい」という気持ちに寄り添える環境を作る。

- ・生徒指導主事を中心に、職員間の情報共有と指導の統一化を常に行う。
- ・SC、子ども支援員等の外部専門機関と保護者をつなぎ、具体的な支援を講じる。
- ・学校を常時開放し、保護者や地域の方々が学校サポートをしやすくする。

②災害時の備えや感染症防止の対応などに万全を期す。

- ・tetoru 配信やホームページを活用し、家庭や地域との迅速な情報共有に努める。
- ・学校医等の専門機関への情報提供を随時行い、指導助言をいただく。
- ・具体的事例等を参考に、訓練やマニュアル等の見直しを柔軟に取り組み周知する。

- (2) 子どもが自ら考え動き「生きる力」を育む教育活動を追究し、

確かな学力の向上に努める。

①自ら考え動く子どもの育成に向けて、教員の力量向上と授業改善を進める。

- ・教員が互いに授業観察したり研修したりなど、学びあう時間と場を確保する。
- ・全職員の共通理解のもと、教員同士の連携、地域との連携を図り研究に取り組む。
- ・ICT コーディネータを中心に、発信の方法を研究し授業への活用を進める。

②主体的・対話的で深い学びの実現に向けての教育実践に全職員で邁進する。

- ・自ら考え動き学びに向かう態度や粘り強く取り組む力を養うために、「朝学」「自由進度学習」「専科教員による授業」「TT」を推進する。
- ・他者と対話し共に考え、自己の考えを広げる子どもの育成に向け、「作手」と関わる授業の改善や活動の工夫を進める。
- ・自ら課題を解決したり、創造したりする子どもの育成に向け、「作手小 話し方・聞き方」「意見のハンドサイン」「授業の振り返り」などの定着を図る。
- ・コミュニケーション能力の育成に向け、外部講師を活用し英語教育の充実を図る。

- (3) 子どもの豊かな心と逞しい体の育成を、教育活動や行事の工夫を通しめざす。

①「自分たちで学校生活をよりよくする」という主体的な態度の育成に努める。

- ・縦割り班活動、掃除の取り組みを見直し、子ども達でできるよう活動を工夫する。
- ・委員会や行事で、子ども達へ考える場と時間を十分に与え、活躍の場を設定する。
- ・子どもや学年の実態に応じ、家庭や地域と連携したり、体験活動を取り入れたりした道徳教育を工夫する。

②挑み続ける場を設定し、心身ともに逞しい体の育成に努める。

- ・毎週金曜日の全校サーキットトレーニングの工夫や改善を体育主任中心に進める。
- ・フレンドタイムは子ども同士で遊べる時間を確保し、教員も共に楽しむ。
- ・体育的な学校行事について、年間の見通しをもち計画的、系統的に取り組む。